

東京都知事杯

結果
発表

椿まつり フォトコンクール

応募期間

2023

1.29



2023

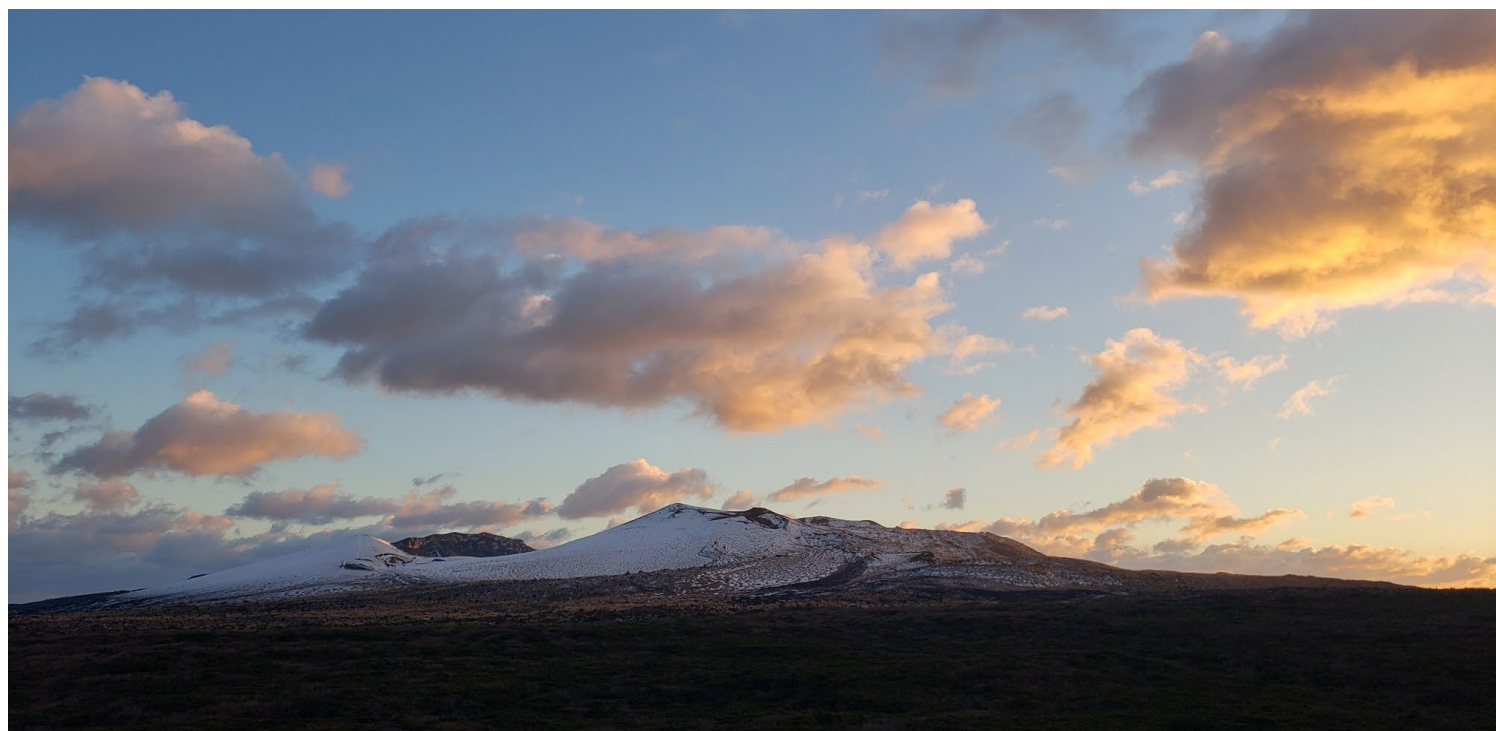
3.31

前年度入賞作品例

たくさんのご応募ありがとうございました。総応募数363作品の中から厳正なる審査の結果、最優秀賞1点・優秀賞2点・入選10点が選ばれました。おめでとうございます。

企画主催：一般社団法人大島観光協会 審査員：北山輝泰（星景写真家兼ビデオグラファー）
後援：東京都、東京都大島町、東海汽船株式会社、東京新聞・東京中日スポーツ、全東京写真連盟

最優秀賞（1作品）



「夕焼けに映える雪化粧の三原山」 赤尾好紀さま

〈選評〉

まるで粉砂糖を振りかけたかのように三原山と裏砂漠の黒い大地の対比も印象的ですが、夕焼け色に染まった雲が加わることで、1日の終わりの物寂しさにも感じられ、作品の印象がぐっと深くなっています。写真自体も魅力的ですが、一年に一回雪が積もるかどうかの伊豆大島で、美しい雪景色の作品を撮影できた幸運も祝して最優秀賞とさせていただきました。

優秀賞（2作品）



「波浮港9時10分発」 米岡裕矢さま

波浮港見晴台より撮影された風景ですが、ノスタルジックな作品の色合いがまるでドラマのワンシーンのようでとても惹かれました。夏の暑い日差しや、波の音が作品を通じて伝わり、また訪れたくなりました。



「グ〜♡」 植野幸帆さま

大島公園の椿園で撮影されたお写真でしょうか。可憐に咲く椿の下でとても楽しそうに笑っているお子様の豊かな表情が魅力的です。椿の花を見て喜んでいるのか、手に持っている飴が嬉しくて喜んでいるのか分からないところもとてもユーモアがあり面白いと思いました。

入選（10作品）



「気取らない優美さ」
honumaruさま



「もふもふさんの鋭い視線」
馬橋明里さま

第31代のミス椿の女王に選ばれた山梨さんです。緊張感残る笑顔ですが、初々しさの中に山梨さんが醸し出す柔らかい雰囲気も感じられ、魅力的な写真です。

手前にぼかした葉っぱを配置し作品全体に奥行き感が生まれたことで、木の隙間からまるでハンターのように何かを狙っているレッサーパンダの表情がより際立っています。



「僕の人生はじめての顔はめパネル」
薦野奈津美さま

満面の笑みのお子様の表情から楽しそうな様子がよく伝わり、とても温かい気持ちになりました。



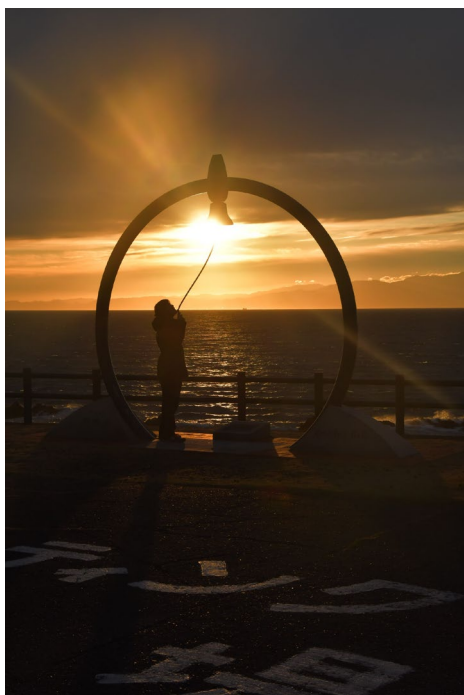
「はたらくおふね」 高見采加さま

伊豆七島で活躍する船の写真の中でも、とてもシンプルに面白さが伝わる魅力的な一枚です。



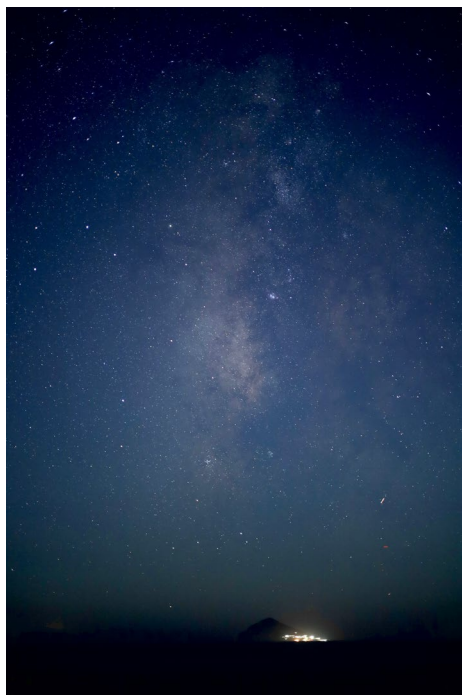
「富嶽橘」 小佐野航二さま

〈望遠レンズの圧縮効果が際立つ作品です。遠く離れた富士山と商船にあたる陽の光も美しく目を惹きます。〉



「次は一緒に鳴らそう」 稲岡慎之介さま

雲間から差し込む夕陽と人物やモニュメントのシルエットの対比が美しい作品です。また、タイトルに込められた作者の想いも素敵でした。



「トウシキより」 takayaさま

伊豆大島の南端にあるトウシキ園地周辺で撮影された迫力ある天の川です。トウシキ周辺は伊豆大島の中でも特に空が暗く、星空撮影に最適です。



「強風の日の三原神社」 野口寛子さま

三原神社からは、鳥居越しに伊豆半島が広がります。雲の切れ目から見える富士山は力強く、見る人にパワーを与えてくれそうな1枚です。



「火山を駆ける少女」 岡田知子さま

裏砂漠の雄大な自然美には心がとてもワクワクしますが、その様子がお二人の動きからよく伝わり、微笑ましい気持ちになりました。



「切通し」 鶴健太郎さま

泉津の切通しのお写真はたくさんいただきましたが、中でもこちらの作品は光が差し込むわずかなタイミングを捉えており、自然美が豊かに表現され目を惹きました。